

令和5年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市交流保養センター（大菩薩の湯）			検証日	令和6年7月8日	
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	廣瀬 仁	作成者名	小澤 龍司
	指定管理者	名称	株式会社 大菩薩				
		代表者	代表取締役 笠原 二三子				
		所在地	東京都中央区日本橋浜町二丁目52番3号1階				
		指定期間	令和5年(2023年)4月～令和8年(2026年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市塩山上小田原730番地1				
		設置目的	恵まれた自然を活かし、都市と農村地域の交流を促進し、温泉資源を利用して市民の健康と福祉の増進を図るとともに、観光資源としての利用と農業振興に資するため。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	8名	開館日時間等	10:00～21:00 (火曜日・祝日の翌日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)甲州市交流保養センターの利用申請の受付及び利用許可等に関すること。(6)施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く。) (2)甲州市交流保養センター使用料の徴収事務に関すること。(7)備品等の維持、管理及び修繕(大規模な購入及び修理は除く。) (3)甲州市交流保養センター利用料の徴収事務に関すること。(8)その他施設の管理に関すること (4)施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること。(9)業務の報告 (5)その他日常業務					
自主事業	(1)恋人の聖地誘致 (2)著名人による講演会 (3)飲食提供サービス事業 (4)アンケート事業						

DO	管理運営コスト推移(千円)		令和5年度(指定期間1年目)	〇〇年度(指定期間2年目)	〇〇年度(指定期間3年目)	〇〇年度(指定期間4年目)	〇〇年度(指定期間5年目)
	予算	指定管理料	20,172				
		利用料金収入	20,000				
		その他収入	13,432				
		管理運営経費	53,604				
	決算	指定管理料	20,172				
		利用料金収入	21,557				
		その他収入	9,963				
		管理運営経費	60,142				
	収支	-8,450					
施設の稼働状況		令和5年度(指定期間1年目)	〇〇年度(指定期間2年目)	〇〇年度(指定期間3年目)	〇〇年度(指定期間4年目)	〇〇年度(指定期間5年目)	
指標	集客数	46,331					
活動結果		令和5年5月にコロナ感染症が5類へ移行したことや新たな管理者となり接客サービスの向上、清掃管理の徹底、自主事業を積極的に取り組み、利用者数は前年比12,208名となり大幅に増加した。					

CHECK	評価観点	評価(5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
	(1)事業の運営	3	・基本協定に基づき適切に事業運営が行われている。 ・自主事業を積極的に取り組み利用者数は前年比12,208名の増加となった。
	(2)施設の維持管理	3	・施設運営に支障がないよう、日常点検、法定点検を実施し、軽微な修繕等については管理者側で早急に対応し、施設の適正管理と安定運営が図られている。 ・衛生管理や清掃を徹底し施設の適正な維持管理が図られている。
	(3)収入支出	2	・自主事業を積極的に展開したが、一部実施できていないものがあることや、燃料費、電気料、材料仕入など物価高騰により支出が見込んだ額より増加していることなどから、収支としては赤字となった。
	(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)	
優良 良好 妥当 要改善 不適		要改善	・施設の安定運営のため適正管理が図られている。 ・自主事業を積極的に展開し利用者の増加に取り組んでいる。又、接客の向上、衛生管理、清掃の徹底など適正な施設の維持管理に努めており利用者の高評価に繋がっている。 ・収支については、自主事業が一部実施できなかったことや物価高騰などの影響により8,450千円の赤字となった。

ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応	
	当面の課題	・施設の老朽化により、施設、設備の不具合が多くなる為、優先順位をつけ修繕等を実施し施設の健全化を図っていく。 ・恋人の聖地の誘致等更なる集客数の増加や自主事業の展開を図ることで客単価を上げ黒字転換を目指していく。
課題解決への対応	・施設の不具合箇所の修繕、改修を順次行っていく。 ・恋人の聖地の誘致や自主事業の展開とPR活動の強化を図る。 ・地元農産物の販売の強化等による魅力度アップを図る。	

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

- ・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。接客の向上、衛生管理、清掃の徹底などを継続し、引き続き、適切な管理運営を行っていただきたい。
- ・昨年度と比較し、大きく利用者数を増加させることができているため、引き続き、利用者の増加に繋がる取り組みを行っていただきたい。
- ・物価高騰などの影響もあるが、収支のバランスが取れるように事業展開を考えていただきたい。